

ふくしの森ステーションあがの だより



令和6年
1月号

“謹賀新年”



開所日：原則、火～金（祝のぞく）

時間：9:15～16:15

所在地：吾野186番地1（吾野地区行政センター内）

電話：070-7792-2433 / ファクス：050-3156-2236

メール：station-agano@hannosyakyo.or.jp

※暮らしの困りごと、お気軽に相談ください！

「たすけあいあがの」を中心とした今後6年間の取組目標が決定!!

～吾野地区ふくしの森活動計画～

<スローガン>

<取組目標>

<取組内容>

はんのうふくしの森プランとは？

私たちの暮らしのそばにある森は、命を育み、その営みの中で様々な恩恵をもたらしてくれます。「はんのうふくしの森プラン」は、この森のように人と人、人と環境(社会資源)とが豊かに関わり支え合い、誰もが安心して「ふだんのくらしのしあわせ(地域福祉)」を感じながら暮らすことができるまちをつかっていこうという願いから生まれたものです。

第3次はんのうふくしの森プランの

主な実績とこれからの課題

第3次はんのうふくしの森プランの計画期間である令和元年度から令和5年度のうち、3年を超える期間において、新型コロナウイルス感染症の拡大による行動制限など、今まで経験したことのない状況に置かれたことにより、社会全体が大きな影響を受けました。

またコロナ禍が与えた影響は、人々の暮らしの価値観に変化をもたらしました。非対面のコミュニケーションなど、「つながり」の手法も多種多様になってきており、地域福祉のあり方も変革の時を迎えていると言えます。

地域福祉においては、従来通りの活動がままならず、停滞したもの、廃止となってしまった活動もありましたが、第3次プランの推進、そして地域活動の継続的な実施等が進んでいます。

そして、これからの時代、地域福祉に求められる役割を的確に把握しながら、第3次プランの積み残しや今後取り組むべき課題を整理し取組みます。

加えて、第4次はんのうふくしの森プラン(令和6～11年度)の策定においては、すべての地域で話し合いを行い、市民が主体となって自らの地域の目指す姿や取組内容を定めた「圏域別ふくしの森活動計画」が新たに作成しました。

第4次はんのうふくしの森プランの詳細については

完成後、改めて当紙面で皆さんにご案内します。

みんなが住みたいまちを目指そう

1、こどもを育てる地域づくり

- ・自然を活かした楽しみながら学べる機会づくり
- ・地域の文化や歴史について学べる機会づくり
- ・吾野保育所、奥武蔵創造学園(奥武蔵小学校、奥武蔵中学校)と地域住民の交流

2、多様な交流機会の創出

- ・住民が気軽に集まれる場づくり
- ・地域の文化や歴史について学べる機会づくり
- ・吾野保育所、奥武蔵創造学園(奥武蔵小学校、奥武蔵中学校)と地域住民の交流

3、移動手段の充実

- ・らくだ号、奥武蔵らくらく交通の周知(紹介)
- ・ドライバーの募集と啓蒙活動
- ・家事援助と一体の送迎(お助け隊)の実施に向けた検討

4、安心して暮らせる地域づくり(見守り、防災)

- ・自主防災会=(自治会)との連携
- ・関係団体の協力による見守り
- ・ご近所どうしの見守り

これまで地域の皆さんからいただいたご意見に加え、新たに吾野地域に移住してきた方々からのご意見をもとに作成しました。

聴取日：令和5年7月13日(木)～9月6日(水)

聴取方法：オンライン 回答者数：17名

～いただいたご意見の例～

- ・自然の中で交流できる【山登りや川遊び】を通して、関係団体が連携して関わるような仕掛けが必要だと感じる。
- ・地域の方が持つ自然への知恵と知識を交流を通して子どもたちや親へ伝えられる機会があってほしいです。
- ・(地区外に友だちが住んでいることから)4地区の交流の機会がほしい。

暮らしの困りごとは、コミュニティソーシャルワーカーへご相談を!

事前にお電話のうへ、吾野地区行政センターまでお越しください!



梅木



榎戸

🌸 ぱらつと 🌸 行ってんべえ 🌸

福祉のなんでも相談会

● 2/15(木) 13:30～15:00(集会室・会議室)

◆ 吾野地区担当の、飯能市健康づくり支援課(保健師)・すこやか福祉相談センターはちまん町・地域包括支援センターはちまん町・飯能市社会福祉協議会(コミュニティソーシャルワーカー)がご相談に対応します。

秘密は守られますので安心してください♪

【各種計測】●血管年齢測定●血圧測定●体組成計測定

地域福祉に関する素敵な取組みをCSW（コミュニティソーシャルワーカー）が取材・発信していきます

今回の取材先

NPO法人 奥武蔵グリーンリゾート

吾野地区・東吾野地区の移動支援として、地域住民が運営する、地域のための移動手段「奥武蔵らくらく交通（吾野谷住民タクシー）」を展開されている、NPO法人奥武蔵グリーンリゾートの平沼弘理事長に、活動をはじめた切っ掛けや今後の展望についてお伺いし、また、地域課題の解決に取り組む方々へ応援メッセージをいただきました！（取材したCSW：亀崎）



取材にご協力いただいた 平沼 弘 理事長

吾野地区と東吾野地区のこれからを 自分たちで考え、自分たちで動く

今から15年ほど前の段階で、地域が限界集落になってからでは手遅れになるので、移動支援の取り組みが絶対に必要になると考えていました。その後、たすけあいがの「移動交通部会」による「らくだ号」の仕組みづくりに参加し、そこでの経験を基に、平成26年度にNPO法人奥武蔵グリーンリゾートを設立し、平成30年度から「奥武蔵らくらく交通」（以下：ラクタク）のサービスを開始しました。

ラクタクでは「活動者に気持ちよく活動してもらう」ことを大切にしています。例えば利用は運転手が負担を感じないように事前予約制にしました。また、利用者に安心して利用してもらえるよう、各地区に運転手を配置している点も特徴です。

今後はラクタクの仕組みを展開させ、吾野地区・東吾野地区の地域経済を活性化させるべく、吾野谷を周遊するエコツアーの実施を検討しています。更には、外国人観光客をターゲットにしたインバウンドの取り組みも実施していきたいと考えています。

内閣総理大臣補佐官、国土交通省が ラクタクの取り組みを視察

今年11月にはラクタクの取り組みについて、内閣総理大臣補佐官と国土交通省の視察を受けました。視察先としてラクタクが選ばれたことは、この活動の先進性が評価されたからではないかと考えています。当日、視察された方々からは「みなさんの活動を応援しています」と温かいお言葉をいただきました。これは私たちにとって大きな自信となりました。

地域課題に取り組むあなたへ 活動者からの応援メッセージ

地域課題の解決に取り組む場合、一部の人たちで考えるのではなく、みんなで課題を共有することがとても大切です。また、みんなが当事者意識をもち、10年後の地域像を真剣に考えることも重要です。ある程度の「型」が準備できれば、あとは皆さんの熱意次第です。移動支援はライドシェアの推進など政府の方針も日々変化しており、今がチャンスです！

「奥武蔵らくらく交通」の利用について

利用できる人	吾野地区・東吾野地区に在住の方、両地区を訪れる方（事前の利用登録が必要です）
利用できる日時	毎日・午前8時から午後6時まで（正月三が日を除く）
乗車できる場所	吾野地区・東吾野地区内（両地区外からは乗車できません）
降車できる場所	飯能市内全域、および、日高市の三つの指定医療機関
利用料金	2.9kmまで500円、以降1kmごとに100円が加算されます
利用方法	利用希望日の前日までにご予約ください
その他	運転手：国土交通大臣認定講習を受講しております 許可種別：公共交通空白地有償運送（道路運送法自家用有償運送・埼玉県交第1号）
問合せ	NPO法人奥武蔵グリーンリゾート 電話/090-2677-4362（事務局・平沼）

※ご利用に関する詳細はNPO法人奥武蔵グリーンリゾートまでお問合せください